

〇〇科 学習指導案

〇〇科 学習指導案			
単元名	第2章 経済と流通の基礎 3節 経済活動と流通 1. 流通の意味 2. 流通の役割 3. 流通機構 4. 流通をとりまく環境の変化 「ビジネス基礎」(新科目名: ビジネス基礎)		
単元の目標 (単元で育成する資質・能力)	経済活動における流通の意義や役割について、生産から消費に至る役割分担の変化および小売業の業種、業態の変化とかかわらせて理解させる。また、生活水準の向上や生産の高度化によって生産と消費の隔たりが大きくなり、流通の役割が大きくなっていることについても理解させる。		
具体的な評価規準			
知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
生産と消費の隔たりを結びつける流通の機能やしぐみについての基礎的・基本的な知識を身に付け、流通活動全体に共通する経済的特徴を理解している。	流通活動の経済的特徴を小売業の業種・業態の変化や電子商取引の発展とかかわらせてとらえようとしている。	ビジネスと流通活動のかかわりに関心を持ち、流通とは何か、流通が果たす役割について自ら意欲的に調べたりまとめたりしようとする。	
単元計画			
次	時	評価規準と評価方法	学習活動
1	1	【評価規準】ビジネスと流通活動のかかわりに関心を持ち、流通とは何か、流通が果たす役割について自ら意欲的にまとめたりしようとする。(知識・技能) 【評価方法】行動の確認	① 生産と消費の隔たりを橋渡しすることが流通の役割であることを理解する
2	1 2 3	【評価規準】生産と消費の隔たりを結びつける流通の機能や仕組みに関心を持ち、身近な例をもとに考えて表現することができている。(思考・判断・表現力) 【評価方法】記述の点検	② 生産と消費の間には、人的・場所的・時間的隔たりがあることを理解し、その隔たりを解消する商的流通と物的流通があることを学習する。
3	1 2	【評価規準】生産と消費の隔たりを結びつける流通の機能や仕組みについて、流通活動全体に共通する経済的特徴を、小売業の業種・業態の変化とかかわらせようとしている。(知識・技能) 【評価方法】記述の点検	③ 流通機構や流通経路など流通の仕組みについて理解させる。特に流通機構の3つの機関について、具体的事例をもとに学習する。 ④ 流通経路は商品の種類によって異なることを学習する。
4	1 2 3 4 5	【評価規準】消費者ニーズの多様化という観点から、流通について主体的に考察するとともに、電子商取引の発展とかかわらせてとらえようとしている。(主体的に学習に取り組む態度) 【評価方法】行動の確認	⑤ 消費者ニーズが多様化(高級化・個性化など)していること、小売業が業種から業態に重点を置くようになったことを学習する。 ⑥ インターネットの普及および進展という観点から電子商取引が活発になっていること、小売業におけるインターネットと実店舗の連携が進展していることを、事例をもとに学習する。 ⑦ 顧客満足の実現をめざすマーケティングが求められていることなど、流通をとりまく環境の変化について学習する。

2章 経済と流通の基礎

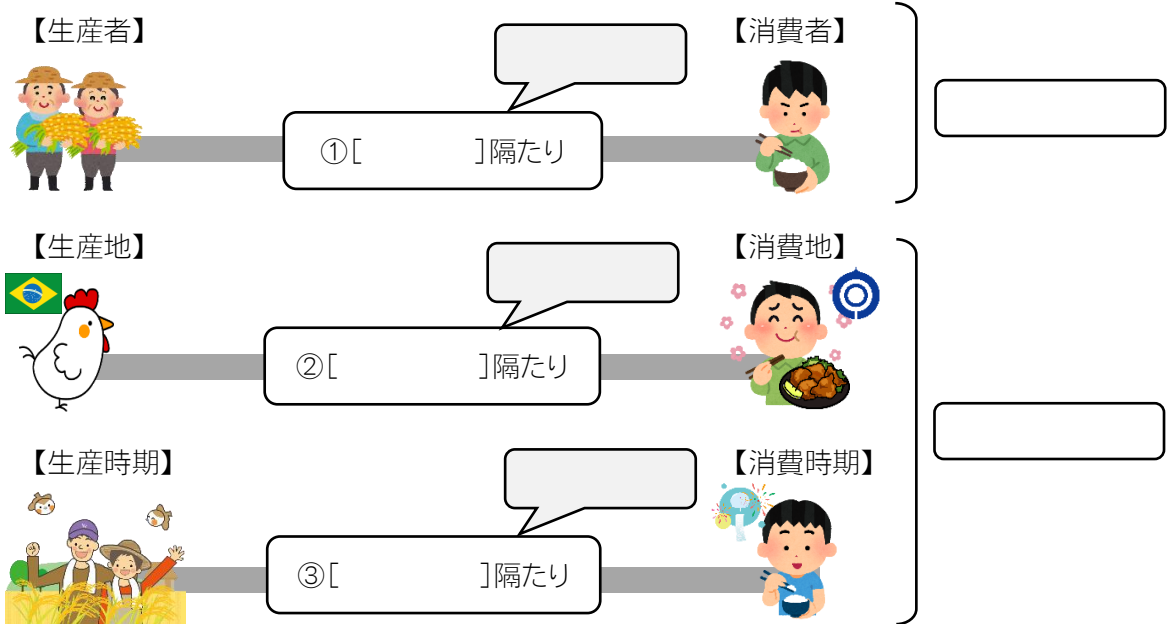
3節 経済活動と流通

2 流通の役割

学習のめあて

1. []しているものが、どのように自分たちのもとに届いているのかを理解する。
2. 生産と消費の[]を橋渡す[]の意味について、理解する。

(1) 生産と消費の隔たり P48



Work! プリント Vol_10 に記入したもののうち、上記の隔たりに該当するものを上げてみよう！

人的隔たり	
場所的隔たり	
時間的隔たり	

(2) 流通の活動 P49

- ① []
[]によって、[] 隔たりを橋渡す。 →
- ② [] ()
[]によって、[] 隔たりを橋渡す。 →
[]によって、[] 隔たりを橋渡す。 →

★近年では、これらの働きを円滑にする[]の橋渡し()の重要性が増している！

本時の自己理解度 [A ・ B ・ C ・ D]